

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

宮崎市長 清山 知憲 殿



提出者

住 所 宮崎市大字富吉字釘ノ前1389-1

氏 名 西日本高速道路メンテナンス九州(株)

宮崎保全センター

センター長 富永 尚志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

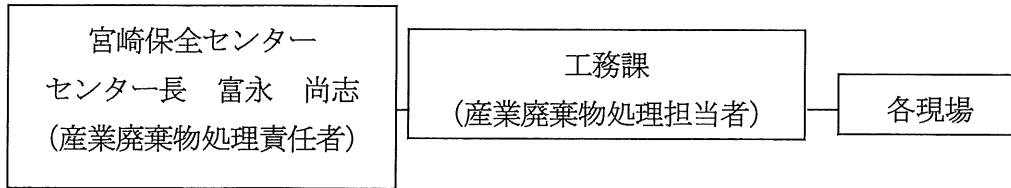
電話番号 0985-89-3370

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西日本高速道路メンテナンス九州(株) 宮崎保全センター
事業場の所在地	宮崎市大字富吉字釘ノ前1389-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	令和4年度完成工事高 13,687,601,414円
③ 従業員数	50名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 汚泥→最終処分委託(管理型埋立)・ 廃プラスチック類→最終処分委託(埋立)・ 廃プラスチック類→中間処分委託(破碎)→再資源化(再生原料)・ 木くず→中間処理委託(破碎)→再資源化(発酵堆肥)・ がれき類→中間処理委託(破碎)→再資源化(再生砕石)・ 建設混合廃棄物→中間処理委託(破碎)→再資源化(再生原料)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・木くず、がれき類については、中間処理後、再資源化を行う業者へ委託し、再資源化を図った。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年同様、木くず、がれき類については、中間処理後、再資源化を行う業者へ委託し、再資源化を図る。 ・分別の徹底を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：廃プラスチック類 取組：所定の保管場所を確保し、他の廃棄物等と混合しないようにした。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：廃プラスチック類 取組：前年同様、所定の保管場所を確保し、他の廃棄物等と混合したい。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
③ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・木くず、がれき類については、中間処理後、再資源化を行う業者へ委託し、再資源化を図った。		

④ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>前年同様、木くず、がれき類については、中間処理後、再資源化を行う業者へ委託し、再資源化を図る。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状 (4年度実績)	排出量	65.34	93.57	1,627.26	68.09	8.49	1,862.75
②計画 (5年度目標)	排出量	60.00	90.00	1,600.00	70.00	8.00	1,828
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら再生利用を行う量	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら埋立処分を行う量	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状 (4年度実績)	全処理委託量	65.34	93.57	1,627.26	68.09	8.49	1,862.75
内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量	0	71.85	0	1.48	8.49	81.82
	再生利用業者へ処理を委託した量	0	0	1,627.26	68.09	0	1,695.35
	認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	全処理委託量	60.00	90.00	1,600.00	70.00	8.00	1,828.00
内訳	優良認定処理業者へ処理を委託する量	0.00	70.00	0.00	2.00	8.00	80.00
	再生利用業者へ処理を委託する量	0	0	1,600.00	68.00	0	1,668.00
	認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0

* 1: がれき類は、「工作物の新築改築または除去に伴って生じたもの」です。